

令和7年度第1回見附市介護保険運営協議会・見附市地域密着型サービス運営
委員会・見附市地域包括支援センター運営協議会 会議録

日 時：令和7年8月21日（木） 午後1時30分～午後2時21分

場 所：見附市保健福祉センター 2階 会議室

出席者：委 員（11名）

見附市老人クラブ連合会	監事（女性部副部長）	大竹 アキイ
連合中越地域協議会见附支部	支部長	坂爪 真也
公募委員		小坂井 保子
見附市南蒲原郡医師会	会長	山谷 春喜
見附市歯科医師会	在宅医療連携室室長	村上 昇
（福）見附福祉会	業務執行理事	若井 和実
（福）見附市社会福祉協議会	会長	星野 隆
見附市保健推進協議会	副会長	坂川 春枝
見附市民生委員		
・児童委員連絡協議会	東部地区民生委員児童委員	高藤 幸子
見附市健康サポートクラブ		酒井 美代子
えちご中越農業協同組合	女性部部長	池田 玲子

事務局

見附市健康福祉課	課長	小此鬼 明
	課長補佐	宮本 有香
	副主幹兼介護保険係長	椿 博子
	高齢福祉係長	青柳 充
	介護保険係主事	岡田 翼

1 開 会

(椿介護保険係長)

定刻になりましたので、これより令和7年度第1回見附市介護保険運営協議会・地域密着型サービス運営委員会・地域包括支援センター運営協議会を開会いたします。本日の進行役を務めます介護保険係の椿と申します。よろしくお願いします。

会議に先立ちまして資料の確認をさせていただきます。事前に皆様に郵送でお届けをしております、次第、資料1～4、本日お配りしました委員名簿、ピンクの冊子となっております。資料に不足がなければ、会を進めさせていただきます。

始めに、健康福祉課長の小此鬼が開会の挨拶を申し上げます。

(小此鬼健康福祉課長)

皆様お疲れ様でございます。健康福祉課長の小此鬼です。本日は大変お忙しい中お越しいただきましてありがとうございます。

今回は令和6年度の報告について、皆様からご意見を頂戴したいと思っております。

現在の介護保険の状況ですが、被保険者数が大体1万3,100人くらいとなっております。皆様のお手元にある資料は令和6年10月段階の資料ですので若干数字が違いますが今大体1万3,100人を切ったくらいであり、既にやはり高齢者人口の減少が始まっているという状況となっております。一方で75歳以上の後期高齢者については団塊の世代の皆様がいよいよ75歳を迎えられたということで、今後も75歳以上の人口は伸びることが予測されます。高齢者人口自体は減るんですが、後期高齢者の人口は増加します。

介護保険のサービスを受けている方なのですが、9割方80歳以上の方とだけ思えば結構だと思います。そのことからしますと、高齢者人口が減ったとしても、今後まだ介護サービスは伸びるだろうというふうに予測をしているところです。

ただ介護保険の給付につきましては、平成12年に介護保険制度がスタートして、令和3年度までずっと伸び続けておりましたが令和4年度に初めて前年度を下回り、また令和5年度で令和4年度を超える給付額となってまた伸びるのかなと思っていたところ、結局昨年度はまた令和5年度を下回ったことで、右肩上がりの状況が続くのではなくグラフで表すと上がり下がりでギザギザな状況となっています。また運営協議会一番のメインの仕事といたしましては、事業計画の策定から皆様のご意見をいただくということになりますが、ちょうど第9期が折り返しに地点に来たばかりなのですが、既にそのあたりを踏まえた議論を始めなければならないというふうに認識しております。

今日は先ほど申し上げたように昨年の実績報告が主な議題になりますので、皆様ご意見とかご質問がございましたら、ぜひ積極的にご発言いただきたいと思います。以上でございます。

(椿介護保険係長)

会議の議事内容、会議資料につきましては、市の要綱に基づき市のホームページにて公開させていただきますので、よろしくお願いいたします。

また、本協議会は「審議会等の会議の公開に関する指針」に基づき、傍聴希望者がいる場合、傍聴を認めております。本日の会議の傍聴希望者はありませんでしたので、ご報告いたします。

では始めに星野会長からご挨拶をいただきまして、その後議事の進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(星野会長)

社会福祉協議会の星野でございます。始めに、会議成立の確認を行います。本日は、14人の委員のうち11人の委員が出席されており、本日の会議が成立していることを報告させていただきます。

次に、議事録署名委員の指名ですが、今回は村上委員をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

(村上委員)

はい。

2 報告

(星野会長)

それでは、次第に沿って会議を進めてまいります。

次第の2(1)「令和6年度介護保険事業特別会計決算について」事務局から説明をお願いします。

(岡田主事)

資料1により説明

(星野会長)

ただ今の説明に対して、ご質問はございませんか。

(小坂井委員)

歳出の項番の74番と76番がかなり今年度減っておりますけれども、そのあたりちょっとご説明いただけますでしょうか。

(岡田主事)

はい。項番74の在宅医療・介護連携推進事業費の減少につきましては、みつけネットで使用しておりますipadの台数が減少したことによる端末機器借入料の減少が要因となっております。

項番 76 の認知症総合支援事業費の減少につきましては、認知症フォーラムの開催によります講師の謝礼金の減少、そして開催に伴うポスターやチラシなどの消耗品費が減少したことによる減少となっております。

(小坂井委員)

ありがとうございます。

(星野会長)

他にございませんでしょうか。なければ以上で終了とします。

(星野会長)

次に報告の(2)、「地域包括支援センターの活動報告について」、事務局から説明をお願いします。

(青柳高齢福祉係長)

資料 2 により説明

(星野会長)

ただ今の説明に対して、ご意見、ご質問はございませんか。

(小坂井委員)

包括支援センターの職員数のことですが、こちらはどういうふうに決まっているのでしょうか。包括南が 1 人多いですが。

(青柳高齢福祉係長)

職員の配置数でございますが、設置地区の高齢者人口によって定められております。高齢者人口が 3,000 人以上になりますと職員 3 人と決まっております。包括南さんにおきましては、それプラス自分たちのところで 1 人確保して、1 人多いというような数字になっております。

(小坂井委員)

相談件数も増えていきますし、本当に何でも相談っていうことで地域の方にはご説明しているので、業務量が増える一方だと思うんですけども。実際に高齢者世帯が増えてそちらの方には個別訪問していただいていると思いますが、ただご家族が同居していらっしゃって、ご家族が介護保険のことをよくご存知なくて質問を受けたりするんですけども、そういったご家族がいらっしゃるということで、情報提供というか、そういう機会があればいいなというご意見がありますので、よろしくお願いいたします。

(青柳高齢福祉係長)

ありがとうございます。基本的には高齢者の単身世帯とかを中心に回っていただいているところでございますけれども、民生委員さんの方から高齢者の方の実態調査というものをやっているところです。その中で若い同居家族がいる方でも、配慮が必要と思われる方をピックアップしていただいて、包括支援センターに情報提供してもいいですよというような方々に関しては、包括支援センターに情報提供をしているところです。ただ、実態把握の個別訪問については、高齢者のみ世帯とか単身世帯が優先になりますので、少し網羅するのが難しいというところもあるかもしれませんが、一応そのような状況だということはお伝えしておきたいと思います。

(小坂井委員)

わかりました。ありがとうございました。

(星野会長)

他にご意見、ご質問がなければ、報告の（２）は、以上で終了とします。

(星野会長)

次に、報告の（３）、「保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金の評価結果について」、事務局から説明をお願いします。

(椿介護保険係長)

資料３により説明

(星野会長)

ただ今の説明に対して、ご意見、ご質問はございませんか。ご意見、ご質問がないようですので、報告の（３）、「保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金の評価結果について」の報告は終了いたします。

3 議 題

(星野会長)

次に、議題の（１）「第９期介護保険事業計画の評価について」、事務局から説明をお願いします。

(椿介護保険係長)

資料４により説明

(星野会長)

ただ今の説明に対して、ご意見、ご質問はございませんか。ご意見、ご質問がないようですので、議題の(1)、「第9期介護保険事業計画の評価について」は、事務局の説明のとおりということによろしいですか。

(委員)

異議なし

(星野会長)

それでは、そのように決定しました。次に、4「その他」ですが、事務局から何かありますでしょうか。

(椿介護保険係長)

ありません。

(小此鬼健康福祉課長)

委員の皆様、せっかくの機会でございますので、何かございましたらお願いしたいと思います。

(小坂井委員)

介護保険制度が始まって25年が経って、老朽化している施設も出てきているんじゃないかと思います。多床室を希望される方が多いかと思うんですが、最近できる施設などは、ユニット型の個室の特養などが多くなっている気がするんですけど、そのあたりは見附市として、何か計画があるのか、施設に任せているのか、どのように考えているのでしょうか。一般市民としましてはどうしてもやっぱり多床室を確保していただきたいなという希望があるので、ちょっとお聞きしたいなと思いました。

(小此鬼健康福祉課長)

貴重なご意見ありがとうございます。私に聞くよりも若井委員に聞いた方がいいのかもしれないんですけども、そういった声があるのは承知しております。実際の状況を申し上げますと、昔ながらのところが非常に待機者が多くて、ユニット型個室といわれている最近できたようなところは、実は待機者がほとんどいないみたいな状況だと思います。それは当然利用料が違う可能性もあると思いますので、そういう点からいうと、おっしゃる通りだなというふうに思っております。ただ一方で、主として多床室を増やしていく方向にあるか、あるいはそこに対して何かしらの調整があるのかということにつきましては、大変なお金がかかる事業ですので今の段階でやるということは考えておりません。ただユニット型個室があるものの、なかなか待機者がいないっていうのは国も承知してるはずなので、そのあたりの動向も

やはり見ていかなければならない。私自身も、小坂井委員がおっしゃるように多床室を確保するというのは何とかならないかと考えておりますが、現段階で市が直接施設に補助を出すというようなことは考えていません。

(小坂井委員)

わかりました。国の方にぜひお声をあげていただけるとありがたいと思います。よろしく願いいたします。

4 閉 会

(星野会長)

委員の皆さんから他に何かございませんか。

ないようですので、以上で予定していた案件はすべて終了いたしました。

これをもちまして、令和7年度第1回介護保険運営協議会・地域密着型サービス運営委員会・地域包括支援センター運営協議会を閉じさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

以上、見附市介護保険運営協議会規則第7条第2項の規定により署名する。

令和7年 月 日

会 長 _____

委 員 _____